

こども学科カリキュラム

A. 卒業要件と単位数

短期大学部を卒業するためには、①学生は2年以上在学し、かつ、②卒業に必要な単位数を取得（学則第15条）しなければなりません。この卒業に必要な単位数は次のように定めています。

表1 卒業に必要な単位数について

学科・コース	授業科目 区分	必要単位数		
		必修	選択	計
こども学科	教養科目	6	8	14単位以上
	専門科目	3	45	48単位以上
	計	9	53	62単位以上

B. 2022年度 こども学科 教養科目一覧表

科目名	授業形態	単 位	開講学年		保育士資格取得の ための必修	備 考	幼稚園教諭二種免許 取得のための必修	備 考
			1年	2年				
宗 教	講義	②	○		必修	●より 2単位以上 修得		
共 生 論	講義	②	○		必修			
文 学	講義	2		○	●選択必修			
哲 学	講義	2	○		●選択必修			
経 済 学	講義	2		○	●選択必修			㊦
社 会 学	講義	2	○		●選択必修			㊦
心 理 学	講義	2		○	●選択必修			㊦
法 学 (日本国憲法)	講義	2	○		●選択必修		必修	㊦
権利擁護を支える法制度	講義	2		○	●選択必修			
情報処理演習Ⅰ	演習	1	○		●選択必修		必修	
情報処理演習Ⅱ	演習	1	○		●選択必修		必修	
情報処理演習Ⅲ	演習	1		○	●選択必修			
英 語 Ⅰ	演習	①	○		必修		必修	
英 語 Ⅱ	演習	①	○		必修		必修	
英 語 Ⅲ	演習	1		○				
英 語 Ⅳ	演習	1		○				
健 康 科 学 論	講義	1	○		必修		必修	
ス ポ ー ツ 実 技	実技	1	○		必修		必修	
就職支援講座 (文章表現)	講義	2	○		●選択必修			
就 職 実 践 講 座	講義	1		○	●選択必修			

○印は卒業必修

(注) 1年次開講科目は、2年次生も履修可能です。

(注) 授業科目は、休講になることがあります。

C. こども学科 専門科目一覧

科目名	授業形態	単位	開講学年		保育士資格取得のための必修	備考	幼稚園教諭二種免許取得のための必修	備考
			1年	2年				
総合演習Ⅰ	演習	①	○					
総合演習Ⅱ	演習	①	○					
総合演習Ⅲ	演習	①		○				
保育原理	講義	2	○		必修			㊦
教育原理	講義	2	○		必修		必修	㊦
子ども家庭福祉	講義	2	○		必修			
社会福祉	講義	2	○		必修			㊦
子ども家庭支援論	講義	2		○	必修㊥㊧			
社会的養護Ⅰ	講義	2	○		必修			
保育者論	講義	2		○	必修		必修	
乳児院論	講義	2	○		▲選択必修			
発達心理学(保育の心理学)	講義	2	○		必修㊨㊩㊪㊫		必修	
子ども家庭支援の心理学	講義	2		○	必修㊬㊭			
子ども理解と教育・保育相談(カウンセリング含む)	演習	2		○	必修㊮㊯		必修	
子どもの保健	講義	2	○		必修			
子どもの食と栄養	演習	2	○		必修			
教育課程・全体的な計画論とカリキュラムマネジメント	講義	2	○		必修		必修	
保育内容総論	演習	1	○		必修		必修	
領域 健康	演習	1	○		必修	▲より7単位以上修得	必修	
領域 人間関係	演習	1	○		必修		必修	
領域 環境	演習	1	○		必修		必修	
領域 言葉	演習	1	○		必修		必修	
領域 表現	演習	1	○		必修		必修	
保育内容の指導法(健康)	演習	1		○	必修		必修	
保育内容の指導法(人間関係)	演習	1		○	必修		必修	
保育内容の指導法(環境)	演習	1		○	必修		必修	
保育内容の指導法(言葉)	演習	1		○	必修		必修	
保育内容の指導法(表現:音楽)	演習	1		○	必修		必修	
保育内容の指導法(表現:造形)	演習	1		○	必修		必修	
乳児保育Ⅰ	講義	2	○		必修㊰㊱			
乳児保育Ⅱ	演習	1	○		必修㊲㊳			
子どもの健康と安全	演習	1	○		必修			
障害児保育	演習	2		○	必修		選択	
特別支援教育	講義	2	○		▲選択必修		必修	
社会的養護Ⅱ	演習	1	○		必修			
子育て支援	演習	1		○	必修㊴			
病児・病後児保育	講義	2		○	▲選択必修			
教育社会学	講義	2		○	▲選択必修		必修	
教育心理学	講義	2	○		▲選択必修㊵㊶		必修	
教育方法論	講義	2	○		▲選択必修		必修	

○印は卒業必修

科目名	授業形態	単位	開講学年		保育士資格取得のための必修	備考	幼稚園教諭二種免許取得のための必修	備考
			1年	2年				
造形と表現	演習	2	○		学科必修 (▲選択必修)	▲より 7単位以上 修得	学科必修	
育児学	講義	2		○	▲選択必修㊸㊹			
ピアノⅠ	演習	2	○		学科必修 (▲選択必修)		学科必修	
ピアノⅡ	演習	2	○		学科必修 (▲選択必修)		学科必修	
音楽と表現Ⅰ	演習	2	○		学科必修 (▲選択必修)		学科必修	
音楽と表現Ⅱ	演習	2	○		学科必修 (▲選択必修)		学科必修	
ピアノⅢ	演習	2		○				
ピアノⅣ	演習	2		○				
教職・保育実践演習	演習	2		○	必修		必修	
保育実習Ⅰ(保育所)	実習	2	○		必修			
保育実習Ⅰ(児童福祉施設等)	実習	2		○	必修			
保育実習指導Ⅰ(保育所)	演習	1	○		必修			
保育実習指導Ⅰ(児童福祉施設等)	演習	1		○	必修			
保育実習Ⅱ	実習	2		○	◆選択必修	◆より 「保育実習」 「実習指導」を いずれか セットで履修		
保育実習指導Ⅱ	演習	1		○				
保育実習Ⅲ	実習	2		○	◆選択必修			
保育実習指導Ⅲ	演習	1		○				
教育実習事前・事後指導	講義	1		○		▲より 7単位以上 修得	必修	
教育実習	実習	4		○			必修	
フィールド・ワーク	実習	1	○		▲選択必修		選択	

→ ○印は卒業必修

※幼稚園教諭二種免許を取得する場合、上記の必修科目の単位を全て修得する必要があります。

選択科目については教職の理解をさらに深めるために役立つ内容なので積極的な履修を薦めます。

なお、幼稚園教諭の選択科目が保育士科目の必修科目になっている場合、単位を修得しないと保育士資格が取得できなくなりますのでご注意ください。

※ピアヘルパー資格は㊸の4科目7単位(学内基準)を取得し、認定試験を受験し、合格すると特定非営利活動法人日本教育カウンセラー協会より認定されます。認定試験料は別途徴収(4,800円(2021年度実施))いたします。

※「育児学」を履修するには教材の購入が必須条件となります。2021年度実績：22,500円

※ベビー人形は身長45cm以上・手足が可動するものに限りです。

※ABMアタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター、育児セラピスト1級の資格㊸(6科目11単位)㊹(6科目11単位)の科目を取得し、「育児学」の実技・筆記試験に合格し、認定申請を実施することにより、資格取得が可能となります。資格認定については、別途徴収(㊸11,000円、㊹11,000円(2021年度資格申請認定料))いたします。

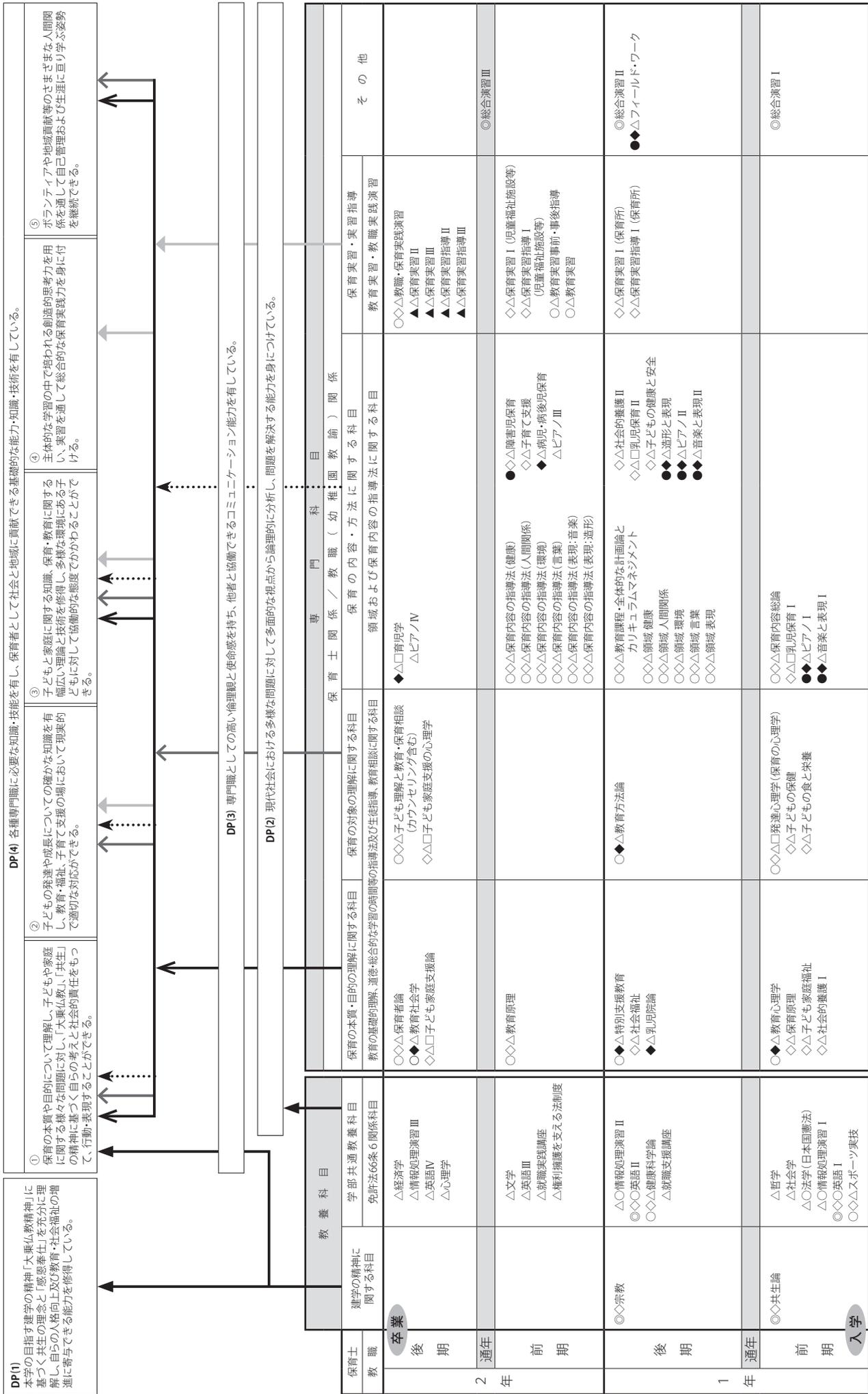
※准学校心理士資格は、㊺の3科目6単位を取得し一般社団法人学校心理士認定運営機構の書類審査に合格すると認定されます。認定にかかる費用は別途徴収いたします。(15,000円初年度(審査料3,000円、登録料3,000円、年会費3年分9,000円))

※社会福祉主事任用資格は、㊻の科目より3科目以上取得し、本学を卒業することにより、資格取得が可能となります。(詳細P.60参照)

(注) 授業科目は、休講になることがあります。

こども学専攻 【カリキュラムマップ】

DPは、ディプロマポリシーを示します。



こども学科：免許状（証）及び資格取得について

イ. 幼稚園教諭（二種）免許・保育士資格

こども学科は、平成18年度より開設された学科です。こども学科では、「子どもの福祉」の視点のもとに乳幼児期の子どもの理解を深めるとともに、その増進について考えていきます。さらに、子どもに大きく関与し影響を与える大人や社会を視野に置き、「大人や社会の福祉」の増進も目指しています。子どもを取り巻く環境は必ずしも良いとは言えません。時代や社会の要請にあわせた養成プログラムを組んでいます。また、乳幼児期の保育・教育に対する理論・演習及び実技・実習等を通して、社会のニーズや実践現場の要請に応えられるように学習を進めることを目指しています。

2年間で保育士資格取得に必要な科目及び幼稚園教諭（二種）免許に必要な科目における所定の単位数を履修し、2つの資格・免許を取得することができます。

- ・幼稚園教諭（二種）免許申請手数料：3,300円（2021年度）
- ・保育士登録手数料・申請書代：4,600円（2021年度）

ロ. 社会福祉主事任用資格（こども学科）

社会福祉主事は、社会福祉法第18条第3項・第4項に定める援護、育成又は更正の措置に関する事務を行う地方公務員に必要なとされる資格です。本学科卒業と同時にこの任用資格が得られ、地方公務員試験に合格した者の中から任用されます。また、多くの社会福祉施設は、この資格を採用条件としているケースが多くなっています。

この資格を取得するためには、以下の科目より3科目以上履修しなければなりません。

科目名	卒業 必修・選択の別	保育士資格	幼稚園教諭 二種免許
法学（日本国憲法）	選 択		必修
経済学	選 択		
社会学	選 択		
心理学	選 択		
社会福祉	選 択	必修	
教育原理	選 択	必修	必修
保育原理	選 択	必修	

（注）本学科を卒業した者で、勤務先などから「社会福祉主事任用資格」に必要な科目の履修の証明書（上記の科目のうちの3科目以上の履修が必要）を求められた場合は、「社会福祉主事任用資格証明書」を発行するので学事部に申し出てください。

（東京都「社会福祉の手引」より）

資格 年齢20歳以上で、人格が高潔で思慮が円熟し社会福祉の増進に熱意があり、次のいずれかに該当する人の中から任用される。

- ①大学などで厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した人
- ②厚生労働大臣の指定する養成機関または講習会の課程を修了した人
- ③厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した人（この試験は未実施）

任用 都では、一般採用職員の中からこの資格を持つ人を任用している。

八. ABMアタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター、育児セラピスト1級

「育児学」等、所定の科目を選択すると、日本アタッチメント育児協会の認定資格である「ABMアタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター」と「育児セラピスト1級」の資格が取得できます。この科目は、選択科目ではありますが、保育者となりうる方達にとって様々な知識や技術力などを向上させるうえでも、力強い資格となります。また、将来、インストラクターとして活躍する場も広がります。

※資格取得に係る費用についてはP.58参照。

二. ピアヘルパー

“Peer”は「仲間」、「Helper」は「助ける人」。ですから、ピアヘルパーは直訳すれば仲間を助ける人という意味です。問題の相談相手になる、あるいはピアグループ（たとえば各種サークル）の世話役をつとめるのがピアヘルパーの活動範囲です。所定の単位を修得し、認定試験に合格することにより取得できます。

※資格取得に係る費用についてはP.58参照。

ホ. 准学校心理士

准学校心理士は、園や学校等の生活における様々な問題について、アセスメント・コンサルテーション・カウンセリングなどを通して、子ども自身、子どもを取り巻く保護者や教師・保育者、園や学校等に対して心理教育的援助サービスを行う「学校心理士」に準ずる認定資格です。

この資格の認定を受けるには、以下の科目（3科目6単位）を修得し、かつ教員免許（幼稚園教諭免許）または保育士資格を有する（取得見込みを含む）必要があります。

※資格取得に係る費用についてはP.58参照。

科目名	保育士資格	幼稚園教諭二種免許
教育心理学		必修
発達心理学（保育の心理学）	必修	必修
子ども理解と教育・保育相談（カウンセリング含む）	必修	必修

こども学科の実習について

実習派遣の条件について（判断基準）

幼稚園教諭（教職）課程や保育士課程の実習は、すべての学生は実習派遣を受けるわけではありません。幼稚園教諭免許ならびに保育士資格の取得を希望し、「実習派遣の条件」を満たした学生が実習派遣を受けることができます。

「実習派遣の条件」は、以下の通りです。この条件を満たすことが、実習派遣を行う条件となります。

1. 実習指導について

- ① 実習指導の出席が常であること
 - ・原則として、欠席3回で個別の面談を行い、欠席5回で実習派遣を延期する。
- ② 実習指導の成績が60点以上見込まれること。
- ③ 実習に関する準備ができていること（実習指導を担当する教員等の指示に誠実に対応していること）。
 - ・提出物等の期限が守られ、その内容に問題がないこと。
 - ・実習オリエンテーションが適切に行われていること。
 - ・実習生としてふさわしい服装、身だしなみであること。

2. 健康について

- ① 健康診断を受診し、かつ健康に問題がないこと。
- ② 抗体に関する証明があり、抗体検査等に問題がないこと。
- ③ 腸内細菌検査を必要とする場合、検査を受診し問題がないこと。
- ④ アレルギーや医師の診断に基づくスポーツや運動制限、服薬や投薬等の指示を受けている場合は、その内容を大学に申告していること。
- ⑤ 妊娠していないこと。

3. 成績について

- ① 各期の成績がGPA1.5を下回らないか各期で履修する教科目の教科目の概ね半数以上の単位取得が見込まれること。
 - ・いずれかに該当する場合は、個別の面談を行い、実習運営委員会で審議の上、実習派遣を決定する。
- ② 直近の実習の評価（実習評価票）のうち、2つ以上がC以上であること。
 - ・2つがD以下（実習の中止や中断を含む）の場合は、実習運営委員会で審議の上、実習派遣を決定する。
- ③ 半期の実習派遣が2回以内であること（原則として、3回以上の派遣は行わない）。

4. その他

- ① 保育者になるうえでの資質に疑義がないこと。
- ② 守秘義務違反や各種法令違反がないこと。
- ③ 第三親等までの親族が実習派遣先の施設に勤務または入所していないこと。
- ④ 学生本人が実習派遣の施設でアルバイトや勤務（常態化していない）をしていないこと。

実習派遣（開始）後の中止および中断（判断基準）

実習派遣（開始）後の「中止」や「中断」となる場合の判断基準は、以下の通りです。特に、「中止」となった場合、2年間での免許や資格の取得が困難となります。なお、判断にあたっては、実習指導担当教員が判断し、実習運営委員会で中止または中断を決定します。

1. 中止について（当該実習の評価はDとなり再実習となる）

- ① 実習生（学生）の実習の過程に対し、実習施設から中止等の要請がなされた場合。
- ② 出勤状況を含めた学生の実習態度や姿勢に問題があり、実習の継続が困難であると大学等が判断した場合。
- ③ 実習施設と大学に連絡を怠り、無断で遅刻、早退、欠席を繰り返した場合。
- ④ 学校伝染病（第1種～第3種）の罹患や重大な疾病や受傷以外の事由による欠席が累積5日以上となった場合。
- ⑤ 実習期間中にアルバイトを行った場合。
- ⑥ 守秘義務違反や各種法令違反が認められた場合。
- ⑦ 実習施設に対する根拠のない誹謗や中傷などが認められた場合。
- ⑧ 学生（実習生）からの申し出を受け、実習指導担当教員および実習運営委員会が実習派遣の中止を決定した場合。

2. 中断について（事由が解消された後、実習の継続または期間等を改めて実習を行う）

- ① 学生の欠席（ただし累積5日以内）等により、実習施設から実習期間等の変更の申し入れが大学等になされた場合。
- ② 学校伝染病（第1種～第3種）の罹患や重大な疾病や受傷等の正当な理由により、実習の継続が困難と判断された場合。

- ③ 大規模災害や気象変動による危険性が予想または発生した場合。
- ④ 交通手段の寸断が予想、または発生した場合。
- ⑤ 実習生（学生）の3親等以内の親族に弔事が発生し、相当期間の欠席が予想される場合。
- ⑥ 学生（実習生）からの申し出を受け、実習指導担当教員および実習運営委員会が実習派遣の中断を決定した場合。